

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 9 月 8 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470203310		
法人名	メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム三滝ひまわり		
所在地	広島市西区三滝本町2丁目25-10 (電話) (082) 230-0888		
自己評価作成日	平成24年4月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=3470203310-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人 広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成24年9月6日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>当施設では地域に拓かれた施設を目指して、町内会で行われる行事や公民館でのサークル活動への参加を積極的におこなっている。</p> <p>介護職員には、毎月1回、老人保健施設と合同の勉強会を行っている。日々の関わりでは、認知症が進行しても出来る事、分かる事を見つけて支援していくよう指導している。出来ることは時間がかかってもなるべくご本人にさせていただき、残存機能を十分に活かしていただけるように日々、お手伝いをさせていただいている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>「グループホーム三滝ひまわり」は、緑の多い閑静な住宅地の一角に在り、一般家屋のような造りになっている。当ホームでは、地域との交流を大切に考え、系列の介護老人保健施設で催されるバザー（手作りの作品やクッキー、赤飯の販売）や夏祭りに参加したり、町内会の行事に協力する等、地域住民との交流を深め、地域に溶け込むように努力している。また、防災対策に力を入れており、夜間想定の実施を年4回実施し、緊急時のスタッフ招集が確実にできるよう、連絡網の抜き打ちチェックを行う等災害に備えている。日々の暮らしにおいては、入居者一人ひとりが主体となるよう、スタッフが支援し、共に行動できるように努めている。食事作りや着替え等のどれひとつをとっても、単なる作業と考えず、入居者の意欲に結びつくように一緒に考えて援助をするように心がけている。身体拘束の研修では、利用者の心情に寄り添えるよう、職員の拘束体験を取り入れている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人全体の理念があり、近づく為に事業所で目標を持って取り組んでいる。	法人の基本理念を基に、当ホームのケア目標を職員で話し合って作成している。目標は朝礼時に唱和し、職員全体で共有して、実践出来るように努力している。	ケア目標の期間を設定して、達成度の評価をしていただきたい。評価結果を次につなげて行く事により、更なるサービスの向上を期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩中に挨拶を心がけ、地域の行事に参加したり、また月に2回の集会所での合唱会や季節ごとの町内清掃などに参加している。	町内会に加入し、年2回の町内清掃に入居者、職員が参加している。町内の集会所で行われる合唱会に参加し、懐かしい歌を楽しむ人もいる。系列施設の主催するバザーや夏祭りに参加し、地域の人々との交流を図っている。この行事も10年継続され、地域に定着してきている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	法人全体で情報を共有し、地域との協体制を作っている。また、要請があれば、認知症サポーターが認知症に対しての理解を深められるよう地域に貢献している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	評価の報告を行い、サービスの要望に対して真剣に取り組んでいる。	定期的に住民代表や家族が参加し、意見交換をしている。地域の苦情や要望には、出来る限り対応し、改善に努力し、地域住民からは、地域の情報を提供してもらい、防災や資源ごみの提供に協力している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	広島市の介護保険事業所指導係と区役所の介護保険担当者に報告している。	困難事例については地域包括支援センターと相談し、対応している。市の依頼を受け、研修の受け入れ施設として協力している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	身体拘束を行っていない。	年に2回、身体拘束に関する研修を行っている。研修では、職員が実際に拘束の体験をする事により、認識を深めて、拘束しないケアに取り組んでいる。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	虐待のマニュアルを作成したり研修等を行い職員に周知している。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	法人の研修での勉強やまた、外部研修等で理解を深めた。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	生活のしおりや内部見学をしてもらい実際の日常生活の様子を見ていただく。疑問点を尋ね十分な説明を行っている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	家族会を開催し意見・要望を伺い、サービス向上委員会で対応策を検討し実行している。	家族会が年に2回行われている。7月は多くの家族（11家族22人）が参加して、そうめん流しを楽しみ、家族同士の交流が図られた。家族からの要望に答え、職員の紹介記事を掲示し、それが家族との会話の糸口となっている。また、苦情については、記録に残し、職員で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	人事考課制度を導入し管理者、職員で具体的に話し合い取り組んでいる。	職員の全体カンファレンス（月1回）を開き、職員の意見を聞いている。職員の意見により、法人内のグループホームを訪問し、入居者同士の交流が図られるようになった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課で具体的に個々の目標を決めて計画的に取り組んでいる。（半年に一度）		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内で月に一回研修を行っている。また、外部の研修へも行っており研修後、職員で勉強する機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内のGHと協力し2ヶ月に1回意見交換をおこない、他の事業所の状態や取り組みを聞き意見交換している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	見学時や面会時に家族、本人様の要望をお聞きし入居までの間に職員間で情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面会時や電話連絡時に日々の様子や要望などを聞いている。積極的にこちらから声掛けをおこなっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前の面接で家族の希望や本人の意思をしっかりと聞いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	希望や訴えを出来る限り傾聴し本人様が職員を信頼していただけるように努力している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	行事や家族との外出の参加の声かけや遠方の家族との手紙や電話でのふれあいが持てるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様に協力をいただき、なじみの物を持ち込んでもらっている。	本人の希望により、馴染みのかかりつけ医を受診したり、かつての隣人の訪問や手紙のやり取りを継続している人もいる。職員と利用者で慣れ親しんだ場所へのドライブを試みる事もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	職員が入居者様の性格などを把握し、個々の個性を大切にしながら皆様との関係を取り持っている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	退居されたあとでも機会があれば面会に行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	一人一人の思いを傾聴、尊重しつつケアを行っている。	意向の表出が困難な場合には、家族からの情報を基に意向の把握に努めている。本人の希望により買い物などの個別対応をする中で、本人の思いが垣間見え、理解を深められるケースもある。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	ご家族様に生活歴をなどの情報の提供をいただいている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	日常生活での細かい部分まで生活行動記録に記入している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>職員間でカンファレンスをおこないご家族様や入居者様のニーズをお聞きしケアプランの作成につとめている。</p>	<p>担当者がモニタリングを行い、ユニットの全職員で検討し、計画を見直している。家族とのコミュニケーションの中からニーズを引き出し、計画に反映させられるように努めている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子を記録に残す。連絡ノート等も活用しながら職員間で情報の共有をはかっている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>グループホームでのイベントにはご家族様も参加して頂けるよう工夫している。また、誕生日会にはご家族様にも声をかけている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>入居者様が楽しんで参加できるイベントがないか地域包括支援センター、町内会長様に情報をいただいている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間に一度受診をしている。体調や薬の変更があった場合は報告し、必要があれば主治医より直接、説明してもらっている。</p>	<p>月に2回協力医に受診し、健康状態を把握している。本人、家族の希望により、これまでのかかりつけ医を受診している人もいます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	主治医のいるクリニックより看護師の往診が週に1回あり。また、同法人の老健、看護師にも緊急時相談できる体制を取っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	相談できる医療機関を幾つか持っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入居時に重度化した場合の方針を説明し、重度化した場合は主治医を含めて話し合いを行っている。	ホームとして、希望があれば看取りを行う方針である。その場合には、本人や家族と話し合いを行い、医師、医療機関と相談し、対応を検討する。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	普通救命講習に参加している。又、早めに医療機関に受診し、指示をもらっている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	2ヶ月に1回避難訓練をおこない、職員の意識を高めている。近隣の同法人施設の応援体制をマニュアル化している。	年に1回、消防署員立会いの下、消防訓練を実施し、アドバイスを受けている。また、年に4回、夜間勤務時に実際に起こる状況を想定し避難訓練を行い、近隣の系列施設のスタッフに協力を要請できるような体制ができている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	法人内の個人情報保護委員会の指導の基に慎重に扱うようにしている。又、施設内研修にて勉強会をおこなっている。	年に2回行われる接遇研修の中で、当ホームにおける接遇の5原則を職員に徹底している。 適切でない言葉使いについては、職員に資料を作成して配布し、指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	残存機能を十分に活かして生活して頂けるように配慮し、選択権をもってもらうようにつとめている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人の思いを汲み取り、なるべく一人一人のペースに合わせ生活していただけるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	希望があれば対応し、イベントや外出時にはこちらから声掛けをおこなっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	一人一人の好みにあったメニューを取り入れている。イベントや季節にあった料理を楽しんでいただけるように工夫している。不定期ではあるが外食も行っている。	各々の誕生日には、本人希望のメニューと手作りのケーキでお祝いをしている。月に2回程度、職員と一緒に考えた献立（お好み焼き、ぎょうざ等）を皆で調理し、食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	水分補給は10時、15時のおやつ時、毎食時、入浴後、外出後に必要な量を確保している。食事は野菜、肉、魚類をバランスよく考えて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、声かけ又は介助にて口腔ケアをおこなっている。必要であれば協力歯科医院に口腔ケアの指導をお願いしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	日々のカンファレンスにて話し合いを行い、個々の排泄のタイミングを把握しトイレ誘導、又は紙パンツの使用を慎重に検討している。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、リハビリパンツやおむつに頼らないように努め、快適な生活が送れるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	適度に運動をして頂けるようにしている。内服薬の使用だけでなく、食事や飲み物にも工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	基本的に入浴は毎日行っており入居者様の希望をお聞きしている。	お風呂は、天然のラドン温泉で、毎日入浴できるようになっており、希望に応じて対応している。中には、1日2回入浴する人もいる。 入浴の嫌いな人には、機嫌のよい時間帯に声掛けし、工夫しながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	出来るだけ自由に生活していただけるようにしている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	入居者様一人一人の内服薬の表を作成しいつでも確認できるようにしている。薬の変更等は都度、連絡ノートや申し送り徹底している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	外出を計画し気分転換もこめ季節を感じてもらったりしている。本人様の趣味を把握し充実していただけるよう対応している。又、役割をもっといただけるように援助している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	家族の方にも散歩や食事など外出して頂ける様、促している。月に一回の外出を企画したり近隣を散歩したりと外出の機会を増やすようにつとめている。	緑が多く、公園も近い環境の中、日常的に近所を散歩している。希望があれば、買い物や外食等、外出の個人対応にも努めている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	ご家族様との話し合いの上に決定している。買い物に行ったときはなるべくご本人にして頂くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	季節の挨拶状や手紙、電話、FAXを備えている。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	毎月のカレンダーのポスターを貼ったり、季節の花を飾ったりと明るく落ち着いた空間作りをしている。	入居者と一緒に、居室や共有スペースの掃除を毎日行い、清潔に保つようになっている。廊下には入居者手作りの作品が飾られており、和ませてくれる。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	居室にはがきがあり、プライバシーを確保している。リビングにはソファをおいてゆっくりくつろぎながら会話できるように配慮している。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	なじみの物や気に入っているものを持ち込んでもらい、部屋担当が不定期ではあるが、見直しをおこなっている。	使い慣れた物、親しんだ物を持って来てもらい、心地よく過ごせるように配慮している。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	一人一人に合わせて標識を活用したり物の配置し生活しやすいように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人全体で理念があり近づく為に事業所全体で目標を持って取り組んでいる。	法人の基本理念を基に、当ホームのケア目標を職員で話し合って作成している。目標は朝礼時に唱和し、職員全体で共有して、実践出来るように努力している。	ケア目標の期間を設定して、達成度の評価をしていただきたい。評価結果を次につなげて行く事により、更なるサービスの向上を期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	入居者様との散歩中には挨拶を心がけ地域の活動に参加したりしている。	町内会に加入し、年2回の町内清掃に入居者、職員が参加している。町内の集会所で行われる合唱会に参加し、懐かしい歌を楽しむ人もいる。系列施設の主催するバザーや夏祭りに参加し、地域の人々との交流を図っている。この行事も10年継続され、地域に定着してきている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	法人全体で情報を共有し地域との協力体制を作っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では評価の報告をおこない、サービスの要望に対し真剣に取り組んでいる	定期的に住民代表や家族が参加し、意見交換をしている。地域の苦情や要望には、出来る限り対応し、改善に努力し、地域住民からは、地域の情報を提供してもらい、防災や資源ごみの提供に協力している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	広島市の介護保険事業者指導係と区役所の介護保険担当者にい報告している。	年に2回、身体拘束に関する研修を行っている。研修では、職員が実際に拘束の体験をする事により、認識を深めて、拘束しないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をおこなっていない。</p>	<p>年に2回、身体拘束に関する研修を行っている。研修では、職員が実際に拘束の体験をする事により、認識を深めて、拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待マニュアルを作成し職員に周知徹底している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員の勉強会を行い、機会があれば外部研修にも参加している。又、個別にも必要に応じて制度の説明をしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>生活のしおりや内部見学をしていただき、生活の様子をみていただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情、要望を受ける体制を作っている。苦情、要望は運営推進会議で報告している。</p>	<p>家族会が年に2回行われている。7月は多くの家族（11家族22人）が参加して、そうめん流しを楽しみ、家族同士の交流が図られた。家族からの要望に答え、職員の紹介記事を掲示し、それが家族との会話の糸口となっている。また、苦情については、記録に残し、職員で共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>人事考課制度を導入し、管理者と職員で具体的に話し合っている。</p>	<p>職員の全体カンファレンス（月1回）を開き、職員の意見を聞いている。職員の意見により、法人内のグループホームを訪問し、入居者同士の交流が図られるようになった。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課で具体的に個人個人の目標を設定し計画的に取り組んでいる。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内で月に1回以上は研修をおこなっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>2ヶ月に1回法人内のグループホームとの会議をおこない他事業所の状態や取り組みなどを聞き、参考になればカンファレンスで上げて日々のケアに反映させている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>初回の面接時や見学時にご本人様、ご家族様からお話をお聞きし職員間で共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	いつでも連絡が取れるようにしている。面会時や電話にて近況をお伝えし、ご意見、ご要望をお聞きしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	介護保険制度の概要やサービスについて必要ならば、情報提供している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	その人らしい生活を支えながら一緒に過ごす時間を大切にしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人様の近況を面会時、電話等でお伝えし情報の共有しながら支えあっている。本人様の誕生日会など家族様にも声をかけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様に協力を頂きなじみのものを持ち込んでもらっている。馴染みの人、場の情報も家族様よりいただいている。	本人の希望により、馴染みのかかりつけ医を受診したり、かつての隣人の訪問や手紙のやり取りを継続している人もいる。職員と利用者で慣れ親しんだ場所へのドライブを試みる事もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が介入し利用者同士の同士の良い関係が構築出来るように気を配っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居された後も本人様、家族様のところへ連絡や面会に行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスを通してニーズや問題点を探しケアプランに反映している。	意向の表出が困難な場合には、家族からの情報を基に意向の把握に努めている。本人の希望により買い物などの個別対応をする中で、本人の思いが垣間見え、理解を深められるケースもある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様や前担当者より情報をいただいている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	申し送りだけでなく、ノートを活用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人やご家族のニーズをお聞きしケアプランに反映させている。</p>	<p>担当者がモニタリングを行い、ユニットの全職員で検討し、計画を見直している。家族とのコミュニケーションの中からニーズを引き出し、計画に反映させられるように努めている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の生活行動記録や連絡ノートを使用して情報の共有をしている。必要に応じて、個別にデータ収集をおこなっている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族の希望があれば宿泊したり食事をしていただけるような体制をしいている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の清掃活動、町内の合唱会の参加など地域の方との交流を持てる場を提供している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診内容の把握、情報を共有し、面会時または電話にてご家族様に報告している。主治医に受診時現状報告している。</p>	<p>月に2回協力医に受診し、健康状態を把握している。本人、家族の希望により、これまでのかかりつけ医を受診している人もいます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	週に1回同法人のクリニックより看護師の往診をお願いしている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	協力病院のほか定期的に往診していただける医療機関がある。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入居時、面会時、または家族会等で重度化した場合の方針を説明している。	ホームとして、希望があれば看取りを行う方針である。その場合には、本人や家族と話し合いを行い、医師、医療機関と相談し、対応を検討する。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	法人内の施設内研修にて緊急時の対応について勉強している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	定期的に避難訓練をおこないマニュアルを作成し災害時の対応を確認している。	年に1回、消防署員立会いの下、消防訓練を実施し、アドバイスを受けている。また、年に4回、夜間勤務時に実際に起こる状況を想定し避難訓練を行い、近隣の系列施設のスタッフに協力を要請できるような体制ができている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	法人内の個人情報保護委員会の指導の基に慎重に扱うようにしている。また、施設内研修にて勉強会をおこなっている。	年に2回行われる接遇研修の中で、当ホームにおける接遇の5原則を職員に徹底している。適切でない言葉使いについては、職員に資料を作成して配布し、指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	訴えがある場合や不穏時は傾聴し本人の思いを引き出すようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人の生活ペースを尊重しできるだけ希望通りの生活をして頂けるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節感のある服を選んで頂ける様、春夏、秋冬と衣替えをして準備している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理や食器洗い等、一緒に食事の準備を行っている。手作りメニューや日々、重ならないよう工夫している。	各々の誕生日には、本人希望のメニューと手作りのケーキでお祝いをしている。月に2回程度、職員と一緒に考えた献立（お好み焼き、ぎょうざ等）を皆で調理し、食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>おやつ時や入浴後などの決まった時間だけではなく、いつでも飲めるように用意している。メインメニューは魚や肉が続かないように工夫している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>見守りだけではなく、時には介助し口腔内の清潔を保っていただけるようにしている。訪問歯科にてすぐに治療をできる体制をしいている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個人のペースやタイミングを日々の尿量から観察し声かけや誘導を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、リハビリパンツやおむつに頼らないように努め、快適な生活が送れるように支援している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>出来るだけ食事や適度な運動、水分補給などで排便を促す努力をしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴が嫌いな方でも声掛けを工夫し本人様の体調や気分を考慮し入浴を楽しんでいただけるようにしている。</p>	<p>お風呂は、天然のラドン温泉で、毎日入浴できるようになっており、希望に応じて対応している。中には、1日2回入浴する人もいる。 入浴の嫌いな人には、機嫌のよい時間帯に声掛けし、工夫しながら支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>適度な臥床時間は日中も行い夜間良眠できるように日中の活動も考えている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>内服の確認表と内服薬の袋を照らし合わせ確認している。薬の変更等はその都度申し送りやノートに記入している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々に出来る範囲内で役割を持っていただくように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ご家族と共に外出可能な方に対してはケアプランにも挙げ協力を求めている。地域の合唱会や法人内での行事にも定期的に参加している。</p>	<p>緑が多く、公園も近い環境の中、日常的に近所を散歩している。希望があれば、買い物や外食等、外出の個人対応にも努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>本人様の希望にて購入する際や外出で必要である場合には家族様に許可を得て使っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば電話をかける様に対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビング内は出来るだけ明るくし夏にはブラインドにて太陽の光からの暑さを調整している。風がある日は窓を開け風通しをよくし季節を感じていただくようにしている。</p>	<p>入居者と一緒に、居室や共有スペースの掃除を毎日行い、清潔に保つようになっている。廊下には入居者手作りの作品が飾られており、和ませている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>時には集団で時には個々で活動し雰囲気を見ながら居場所作りを考えている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家族様協力のもと、慣れたものや大切にされていたものの持込は可能な限り持参していただいている。</p>	<p>使い慣れた物、親しんだ物を持って来てもらい、心地よく過ごせるように配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>転倒しない様、ソファやゴミ箱、椅子等の配置を考えている。混乱をしない様、度々の模様替えは避けている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム三滝ひまわり

作成日 平成 24年 10月 15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ケア目標の評価、見直しが不十分である。	期間を設定しケア目標の達成度を評価し、見直していく。	半年に1回全体カンファレンスでケア目標について話し合い、達成度を職員全体で評価する。	1年
2	4	運営推進会議へのご家族の参加が少ない。	ご家族が参加しやすいように工夫する。	報告事項ばかりにならないように工夫する。ご家族様の意見をお聞きし内容に取り入れる。	1~2年
3	15	職員一人一人の技術、脳力に差があり、一定のケアが出来ていない。	職員一人一人の能力、意識を高めよりよいケアを提供する。	月に1回の勉強会（老健合同）の参加の声かけ。グループホーム独自の勉強会の企画、立案、実行を行う。	1年
4	37	残存能力を活かしたケアを十分に提供できていない。	日々、変化する入居者様の状態を十分に把握し残存能力を活かしたケアを提供する。	入居者様の状態を日々細かく把握する。声掛けやコミュニケーション技術の向上を目的とした勉強会を開催する。	1~2年
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。